

(5) 育児支援ヘルパー事業の充実

【事業の実施状況と方針】

① 育児支援ヘルパー事業の充実		
事業の実施状況	今後の方針	担当課
<p>平成16年10月より支援ニーズの高い産褥期におけるホームヘルプサービスの提供を実施しています。⇒⇒平成18年度より事業名を「育児支援ヘルパー」に変更。</p> <p>三鷹市に住所のある家庭で、出産退院後3ヶ月以内（多胎出産の場合には1年以内）の母親の身の回りのことや、家事、育児の手伝いをするヘルパーを紹介しています。利用日数は退院の翌日から3ヶ月までの間に40時間以内（多胎出産の場合は出産後1年間で100時間以内）としています。</p> <p>■20年度の実績■ 利用件数：89件 利用人数：256人</p> <p>■課題■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員は利用希望者とヘルパーの顔合わせや諸々の調整も行っているため、利用者が多い場合には相談業務への影響もある。 ・育児支援ヘルパーの養成講座を開催しているが、年々受講希望者が減少傾向にある。また、現在登録しているヘルパーにおいても、家族状況の変化により実動人数が限られており利用者が著しく増加した場合にはニーズへの柔軟な対応が困難になることが予測される。 	<p>○充実 ○ファミリーサポートセンター事業と連携し、充実を図ります。</p>	<p>子育て支援室</p>

3 親子交流事業等の拡充

市内に2か所ある子ども家庭支援センターの「親子ひろば」を充実させると同時に、地域での「親子ひろば」事業として、コミュニティ・センターにおいて展開している出前型ひろば事業の「あそびとおしゃべりの会」を公私立保育園の人材を利用しながら、さらに充実させていきます。

また、官民事業者の展開する「親子ひろば」との連携を図り、市内の多くの場所で利用できるように機能強化に努めます。

今後一層親子がふれあい、関わりあうことの楽しさを感じられる場づくりや、子育て家庭への情報提供と利用の促進を図るため、父親の交流や世代間交流の場の拡大、「三鷹子育てねっと」の活用などについても積極的に検討していきます。

(1) 保育所地域開放事業の充実

【事業の実施状況と方針】

① 保育所における出前型親子ひろば事業の充実		
事業の実施状況	今後の方針	担当課
<p>子育て支援センターから遠い地域のコミュニティ・センター(5か所)において月に2回、地域内にある公私立保育所の保育士等がおもちゃなどを持参して、子どもには遊びの、保護者の方には子育てに関する相談や仲間作りの場を提供する「あそびとおしゃべりの会」を実施。保育士だけではなく、栄養士や保健担当も同行しています。</p> <p>平成20年度からは、三鷹市助産師会の協力を得て助産師も一緒に参加しています。</p> <p>■20年度の実績■ 参加者(子ども人数): 1,290人 参加者(大人人数): 1,151人</p>	<p>○継続</p> <p>○コミュニティ・センターとの連携を強化していきます。</p> <p>○ひろば事業を実施している子ども家庭支援センターと連携し利用者のニーズをお互いが実施するサービスを通じて検証し、地域社会に根ざした保育園独自の新たなサービスの提供を検討していきます。</p>	<p>子育て支援室</p>

(2) 子育てひろば事業の拡充

「親子ひろば」は主に0歳から3歳の子どもと保護者を対象にし、親子遊びや子ども同士の交流を通じて遊びを覚える場です。在宅で子育てを行っている保護者にとっては、おしゃべりの中で子育ての悩みを解決したりする息抜きの場となっています。コミュニティ・センターで行っている出前型ひろば事業も内容の充実を図ります。

【事業の実施状況と方針】

① 子ども家庭支援センターのびのび・すくすくひろば運営の充実		
事業の実施状況	今後の方針	担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・ひろばでのショートプログラム（月曜日～金曜日）一わらべうた ・手遊び・パネルシアター・体操他 ・手型一（毎月第4月曜日） ・計測一（毎月第4木曜日） ・水遊び一（7月末～8月末） ・季節のプログラム一（子どもの日・七夕・水遊び・お月見・クリスマス・節分・ひな祭り） ・大きくなったねを祝う会一（2歳児対象） ・年齢別あそびましょ一（0歳～2歳児） ・支援グループ一（子育てに不安を持つ親子対象） ・育児講座 ・出前型親子ひろば一各コミュニティセンターでのあそびとおしゃべりの会 <p>■課題■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員制のプログラムは申込が殺到し、申込みしづらいところがある。ニーズの再調査とともに、事業内容を検討していく必要がある。（0歳～1歳児のプログラムに応募が殺到する） ・ひろばに来ることが出来ない親子への支援等 	<ul style="list-style-type: none"> ○充実 ○ひろばの存在をアピールし、地域で子育てをしている人にひろばの利用を広げていきます。 	子育て支援室

② むらさき子どもひろば運営の充実		
事業の実施状況	今後の方針	担当課
<p>むらさき子どもひろばの乳幼児事業は、0歳から就学前の子どもと保護者を対象にした親子遊びや子ども同士の交流を通じて遊びを覚える場を提供しています。</p> <p>また、在宅で子育てを行っている保護者にとっては、おしゃべりの中で子育ての悩みを解決したりする息抜きの場ともなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日の月曜日から金曜日の午前中に幼児体操・季節の歌・手あそび・わらべ歌などを行い、乳幼児と保護者の親子あそびの指導や子ども同士のかかわり、保護者同士の交流による仲間作りの場を設けています。 ・他にもイベントの日を設け、月曜日から土曜日に不定期で実施しています。 ・これにより、保育士から子どもとの触れ合い方を学んだり、保護者同士のかかわりを通して、子育てを中心とした悩み事の相談や育児のストレス解消に役立っています。 <p>■課題■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人気のイベントの日は、参加者が多く混雑するので、参加したくないという意見が聞かれる。 ・土曜日のイベントで父親と子どものふれあいを喜んでいる母親がいるが、月1回なので不満がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○充実 ○土曜日の開催を増やせないか、検討していきます。 	社会教育会館

③ 出前型親子ひろば事業の拡充		
事業の実施状況	今後の方針	担当課
<p>平成14年度より「あそびとおしゃべりの会」と題して、新川中原コミュニティ・センター、大沢コミュニティ・センター、井の頭コミュニティ・センターに保育園専門スタッフ等が出かけて行う「出前型親子ひろば」を実施し、さらに平成15年度には地域の公私立保育園との連携で牟礼コミュニティ・センター、井口コミュニティ・センターの5箇所に拡大して行っています。ひろばに遠い地域の方にも遊び場や親子の自由な交流と情報交換の場の提供、育児講座の開催、離乳食講習などの提供も行っています。平成21年度より、むらさき子どもひろばも参加します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○拡充 ○地域の援助会員のサポートのもとでの運営が望ましいため、子育てサポーターの育成を進めます。 	子育て支援室

<ul style="list-style-type: none"> ・新川・中原CC→第3水曜日 新川・中原保育園 第4水曜日すくすくひろば ・井の頭CC→第2水曜日すくすくひろば 第4水曜日井の頭保育園(10/11/12月は三鷹台保育園) ・大沢CC→第1水曜日椎の実保育園(12/1/2月は山中保育園) 第3水曜日すくすくひろば ・井口CC→第2水曜日上連雀・あけぼの保育園 第4水曜日野崎・中央保育園 ・牟礼CC→第2水曜日高山・南浦東・南浦西保育園 第4水曜日むらさき子どもひろば 時間：10：30～12：00(むらさき子どもひろばのみ 10：45～11：30) <p>公立日のみ助産師も参加</p> <p>■20年度の実績■(参加者数)</p> <p>新川・中原CC：1,143人 井の頭CC：454人 大沢CC：594人 井口CC：705人 牟礼CC：795人</p> <p>■課題■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・センターにおいても出前型ひろば事業を展開しているが、全親子の参加は望めない。参加できない親子への支援の仕方を検討していく必要あり。 ・コミュニティ・センター(住民協議会)との連携。 年間予約の方法/使用遊具の保管 		
--	--	--

■子ども家庭支援センター「すくすくひろば」ひろば事業・相談事業 利用者総数

子ども家庭支援センター (単位：日、人)

		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
ひろば事業	大人	23,993	24,855	30,635	26,575	27,016
	子ども	27,450	27,726	33,727	29,451	30,591
相談事業	大人	1,655	2,264	2,041	2,379	2,184
利用者数	大人	25,648	27,119	32,676	28,954	29,200
	子ども	27,450	27,726	33,727	29,451	30,591
	計	53,098	54,845	66,403	58,405	59,791
利用日数		299	299	293	292	290
一日平均利用人数		178	178	187	227	201

(3) 三世代交流事業の推進

【事業の実施状況と方針】

① 三世代交流事業の推進		
事業の実施状況	今後の方針	担当課
<p>市立野崎保育園・高山保育園では高齢者在宅サービスセンターけやき苑、東京弘済園と老人保健施設はなかいどうとの交流を実施しています。各々の実施する行事に参加する等、日常的な交流を行っています。今後は出前ひろば事業での高齢者の参加を検討していきます。</p> <p>野崎保育園においてはけやき苑と、高山保育園においては、はなかいどうとの交流を実施。現在の交流は、年間のスケジュールを決め、季節の行事や日々の中での互いの施設を行き来しながら交流を行っています。高齢者施設に訪問する際は、みそづくり、紙すきなど施設で実施し</p>	<p>○継続 ○現状維持</p>	<p>子育て支援室 高齢者支援室</p>

<p>ていることを子どもたちも体験させてもらい、双方とも一緒に作る楽しさを味わったりしています。野崎保育園では、夏祭りに神輿を担いでけやき苑を訪問したり、運動会にもおいていただき、玉入れ等一緒に楽しめるものを一緒に行ったりもしています。5歳クラスの卒園時期には、けやき苑に招待していただきお祝いをしてもらっています。</p> <p>■20年度の実績■ 誕生会：6回 園行事 なつまつり 運動会・子ども会：3回 ダンス・音楽：1回 みそづくり：1回 紙すき：1回 ゲートボール：1回</p> <p>■課題■ ・感染症が流行した時は、交流ができない。</p>		
--	--	--

(4) NPO等との連携

“みたか子育てねっと”の交流機能等を利用して親子交流事業との連携を検討します。

【事業の実施状況と方針】

① 交流事業の支援とNPOとの連携		
事業の実施状況	今後の方針	担当課
<p>「みたか子育てねっと」の中のひとつに「子育てコンビニ」があり、三鷹の子育て情報を掲載している市民の手作りのページとなっています。このページについては、「NPO法人子育てコンビニ」が運営をしています。「子育てコンビニ」は子どもを持った保護者が多く参加しており、親子交流の場として総合的な子育て支援を行っています。毎年、子育て支援室が発行している「三鷹おでかけマップ」は、「NPO法人子育てコンビニ」が作成を行っています。</p>	<p>○継続 ○引き続き、「みたか子育てねっと」を運営する株式会社まちづくり三鷹と連携を取り、「子育てコンビニ」において親子交流ができるように支援をしていきます。</p>	<p>子育て支援室</p>
② おやこひろば事業「チョコっとあっぷるーむ」の実施		
事業の実施状況	今後の方針	担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働センターとおやこひろば実施協議会（子育て支援NPO等11団体で構成）との連携によるおやこひろば事業の実施。 ・主催＝特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク ・事業内容＝マタニティヨガ、骨盤ケア、赤ちゃんの気持ちを感じとろう（コミュニケーションを促進するワークショップ）、スリングの選び方・使い方、幼稚園情報、子育てに役立つコーチング、布コラージュでアートカード・ママの季節の手仕事ほか。 ・おやこひろば実施協議会の役割 おやこひろば事業「チョコっとあっぷるーむ」の企画運営・参加費の徴収 ポスター&チラシの原稿の作成。 ・市民協働センターの役割 場の提供、参加者の受付、ポスター&チラシの印刷・配布。 <p>平成18年4月～9月 おやこひろば実施協議会設立準備 平成18年7月 三鷹市健康福祉部子育て支援室と協議 平成18年9月 おやこひろば実施協議会（子育て支援のNPO12団体により構成）設立 平成18年10月 おやこひろば事業「チョコっとあっぷるーむ」開始 毎月4～10回程度開催</p>	<p>○継続 ○当初、平成18年10月から翌年3月までを試行期間として本事業を開催しました。本事業は、参加市民から好評を得て、親子の居場所及びNPO法人等の自己実現の場であるとともに、参加者が市民活動を始めきっかけづくりになっていることから、今後も継続していきま</p>	<p>コミュニティ文化室 （市民協働センター）</p>

<p>目的＝おやこひろば事業とはNPO・ボランティア、子育て中の母親たちが一緒になって取り組む親子の居場所づくりです。「子育て」をきっかけに新しい出会いとやりたいことを実現する環境づくりを目指しています。</p> <p>おやこひろば実施協議会の構成（NPO法人等 11 団体） NPO法人こもれび、コミュニケーション・ファーム、ベネシス教育研究所、ウィッシュ・プロジェクト、COCO*COLOR、NPO法人子育てコンビニ、子育てアドバイザー直江千恵子、子育てヘルパー遊☆きっず倶楽部、三鷹市女性問題懇談会、ハッピーマムズ、花莉屋</p> <p>■20年度の実績■ 開催回数：70回 参加人数：681人</p>	<p>す。</p>	
---	-----------	--

■親子ひろばマップ



4 地域における子育てグループの育成

子育てグループは、地域での関係や多世代のつながりがなく孤立しがちな保護者が、様々な不安を解消し、子育ての楽しさを共有、実感できる場のひとつです。

出前型ひろば事業の実施や各種育児講座の開催を通じて市民相互のネットワークづくりをサポートし、子育てグループの育成や支援を行っていきます。

(1) 地域の子育てグループの育成

【事業の実施状況と方針】

① 子育てグループ育成支援事業の充実		
事業の実施状況	今後の方針	担当課
<p>子ども家庭支援センターでは住民協議会との連携を図りながら、コミュニティ・センターなどで乳幼児とその保護者を対象に出前型のひろば事業や育児講座を展開し、子育てグループの育成に努めています。常設の子育てひろばの展開を検討しています。</p> <p>すくすくひろばでのグループ室貸し出し、フリーマーケットの開催、コミュニティ・センターでの出前ひろば事業、わらべうた・絵本読み聞かせサークルやリトミック講座開催や自主サークル等のサークル活動を支援しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てグループ育成のための場所提供。 ・フリーマーケット開催（年3回） 	○継続	子育て支援室
② 保育付き自主グループの支援充実		
事業の実施状況	今後の方針	担当課
<p>本館及び東・西館を利用している子育て中の市民の自主グループを支援するため、学習時間に子供の保育を行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保育児定員 1歳以上から就学前までの20人 (ただし、1歳児は8人まで) 2 保育者の配置基準 1歳児子ども2人に対して保育者1人 2歳児以上子ども6人に対して保育者1人 3 保育者体制 本館 16人 東館 12人 西館 12人 <p>■20年度の実績■ 自主グループ数：26 受け入れ児童数：293人</p> <p>■課題■ ・保育者の確保 ・保育スペースの拡充</p>	○充実 ○常設の子育てひろばの展開を検討します。	社会教育会館

(2) ファミリー・サポート・センター事業充実のための子育てボランティア育成と地域活動の推進

【事業の実施状況と方針】

① ファミリー・サポート・センター事業の充実		
事業の実施状況	今後の方針	担当課
<p>ファミリー・サポート・センター事業充実のためには援助会員の育成が必要不可欠です。そこで、援助会員に対する研修等を実施し、援助会員同士の交流を深めてもらうことにより、精神的にも技術的にも利用会員のよき援助者として活動できるよう支援しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回、援助者を養成する為の講座を開催しボランティアの育成を行っています。 ・援助を行っている援助者に対し、フォローアップ研修を開催し、援助のレベルアップやトラブル解消等を行い、人材育成に役立っています。 ・地区での交流会を開催し、援助者間の交流を図ると共に地域の援助を理解しあう場とすることにより、次の援助のステップアップに役立っています。 <p>■課題■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・援助者の空いている日時のみでの支援のため、援助者が代わるがわるになる可能性がある。 ・地域により、援助者の数に偏りがあるため、地域によっては利用者の要望に答えられない場合がある。 	<p>○充実</p> <p>○市民に限らず、市民外の希望者に対する講座を開催し、広く人材育成に努めます。</p>	<p>子育て支援室</p>